

医薬品市場へのアクセス 2018

はじめに

「医薬品市場へのアクセス」は2005年に初版を発刊し、本年度で14回目の発刊を迎えることとなりました。2005年の初版では調査対象領域が高血圧、糖尿病などのプライマリー領域、感染症、抗癌剤など18領域にとどまっておりましたが、新たな治療剤上市による新市場の構築や、スペシャリティー領域への注目の高まりなどの市場動向を反映しながら毎年改定を加え、調査対象領域も54領域にまで拡充して参りました。

医療用医薬品を取り巻く市場環境が変化し続けていく中にありながら、継続して本資料を発刊することができるのも、皆様のご支持によるものと大変喜ばしく思っております。

2017年の国内医療用医薬品総販売高（メーカー出荷ベース）は8兆6,800億円となっており、2016年から1.1%マイナスとなりました。一方、ジェネリック医薬品の総販売高は1兆200億円となり、2016年よりも4.2%プラスの成長となりました。

ジェネリック医薬品のシェアが拡大する中、先発品においては様々な領域で抗体医薬品が発売され、乾癬治療剤では2016年に2製品、2018年に1製品が承認を取得し、アトピー性皮膚炎治療剤においても初めての抗体医薬が承認されるなど活発な動きが見受けられます。抗癌剤市場は注目を集める免疫チェックポイント阻害剤市場において、「オブジーボ」に続き「キイトルーダ」「バベンチオ」「テセントリク」などが市場参入しており、シェア争いに注目が寄せられています。その一方、抗体医薬品は高額薬価が医療費を圧迫するとの課題も抱えており、薬価引き下げの対象となりやすい等の行政判断が販売高へ及ぼす影響も非常に大きいともいわれております。そのため、各社とも市場予測を立てることが難しい側面もあり自社努力のみでの実績の拡大、維持を図ることが厳しい環境下にあると言えます。

また、2018年の薬価改定では、平均7.48%の薬価引き下げが行われた一方、新薬創出加算対象品目は2016年度の改訂時よりも102成分263品目減少（品目ベースで32%減）となり、2018年以降の医療用医薬品市場は、抗癌剤などの一部領域を除き市場成長は厳しい状況になると見通されます。2017年は「オブジーボ」などの一部製品が薬価引き下げの影響を受けたものの、市場全体としてはジェネリック医薬品のシェア拡大による販売高への影響が大きくなっています。特に、プライマリー領域では「オルメテック」「ミカルデイス」「クレストール」などの大型製品のオーソライズドジェネリックをはじめ多数のジェネリック医薬品が発売され、急速な置き換えにより、顕著に市場規模へ影響が表れる年となりました。

2021年度から予定されている毎年の薬価改定をはじめ、地域包括ケアの推進、抗体医薬の普及による開発技術の高度化・費用の高騰など各社を取り巻く環境は毎年変化を見せております。刻々と変化する医療情勢・市場動向の中で本資料が貴社の戦略立案の一助となるよう、スタッフ一同心より願っております。

2018年4月
テスト マーケティング株式会社
メディカルディビジョン

調査概要

調査項目

<総括編>

1. 国内医療用医薬品市場の概要
2. 対象領域の市場規模推移(2013～2017 年)
3. 国内医療用医薬品ランキング(2017 年)
4. 上位ブランドの販売状況
5. 企業別販売状況(2017 年)
6. 領域別上位メーカーの動向(2017 年)
7. 専門MRの導入状況(2017 年)
8. 54 領域におけるコ・マーケティング、コ・プロモーションの状況(2017 年)
9. 対象領域における新製品、新剤型・用量追加、適応拡大の状況
10. 対象領域における販売提携、開発品状況(2017 年)

<領域別市場分析編>

1. 調査対象市場における薬剤分類
2. 市場動向
3. 市場参入メーカーの状況
4. 販売提携の状況
5. 開発動向
6. 将来予測

調査対象領域

14 分野 54 領域(目次参照)

■循環器…………… (6 領域)	■呼吸器…………… (2 領域)
■代謝性疾患…………… (5 領域)	■皮膚・アレルギー…………… (3 領域)
■癌…………… (2 領域)	■腎・血液…………… (2 領域)
■感染症…………… (4 領域)	■泌尿器…………… (2 領域)
■神経系…………… (11 領域)	■女性疾患…………… (2 領域)
■骨・関節…………… (4 領域)	■麻酔・筋弛緩…………… (2 領域)
■消化器…………… (3 領域)	■その他…………… (6 領域)

調査期間

2018 年 2 月～4 月

- ※ 本書における「販売高」は全てメーカー出荷ベースとなっております。
- ※ 本調査の実績は全て 1～12 月の年次ベースでの実績となっております。
- ※ 製薬企業各社のMR数、専門MR数の状況は原則、2017 年 7 月時点での状況です。
- ※ 市場動向の項目において 1 物 1 名称並行販売を行っているブランドについては合算した販売高を掲載しております。(1 物 2 名称についてはブランド毎の販売高を掲載)

目 次

<総括編>

1. 国内医療用医薬品市場の概要	
1) 医療用医薬品総販売高	(3)
2) 調査対象 54 領域合計販売高	(3)
2. 対象領域の市場規模推移(2013～2017 年)	
1) 市場規模推移	(4)
2) 領域別市場シェア(2017 年)	(7)
3) 市場規模別領域分布	(8)
3. 国内医療用医薬品ランキング(2017 年)	
1) 領域別販売高ランキング	(9)
2) 領域別伸長率ランキング(2017 年/2008 年)	(10)
3) 上位 100 ブランド一覧	(11)
4) 上位 50 ブランドの発売年代別一覧	(12)
4. 上位ブランドの販売状況	
1) 対象領域の薬効別実績(2013 年～2017 年)	(13)
2) 対象領域の薬効別上位 5 ブランド(2017 年)	(19)
5. 企業別販売状況(2017 年)	
1) 企業別領域TOP5 ランクイン状況	(28)
6. 領域別上位メーカーの動向(2017 年)	(31)
7. 専門MRの導入状況(2017 年)	
1) 対象領域における専門MR導入状況	(40)
2) 対象領域における企業別専門MR導入状況	(41)
3) 主要企業における医療用医薬品販売高、MR数、専門MR導入状況(2017 年)	(46)
8. 54 領域におけるコ・マーケティング、コ・プロモーションの状況(2017 年)	
1) 実施状況	(49)
2) 領域別コ・マーケティングの状況	(51)
3) 領域別コ・プロモーションの状況	(55)
9. 対象領域における新製品、新剤型・用量追加、適応拡大の状況	(58)
10. 対象領域における販売提携、開発品状況(2017 年)	(60)

目 次

<領域別市場分析編>

1. 高血圧症治療剤…………… (65)	28. 神経変性疾患治療剤…………… (358)
2. 不整脈治療剤…………… (78)	29. 消炎鎮痛剤…………… (366)
3. 狭心症治療剤…………… (85)	30. リウマチ治療剤…………… (376)
4. 心不全治療剤…………… (92)	31. 変形性関節症治療剤…………… (389)
5. 血栓・塞栓治療剤…………… (101)	32. 骨粗鬆症治療剤…………… (395)
6. 肺高血圧症治療剤…………… (113)	33. 潰瘍治療剤…………… (405)
7. 脂質異常症治療剤…………… (122)	34. 消化器・腸疾患関連治療剤…………… (415)
8. 糖尿病治療剤…………… (134)	35. 痔疾患治療剤…………… (428)
9. 痛風・高尿酸血症治療剤…………… (152)	36. 喘息・COPD治療剤…………… (434)
10. 低身長症治療剤…………… (160)	37. 感冒関連治療剤…………… (451)
11. ライソゾーム病治療剤…………… (168)	38. 抗アレルギー剤…………… (457)
12. 抗癌剤…………… (176)	39. アトピー性皮膚炎治療剤…………… (468)
13. 癌治療補助剤…………… (211)	40. 皮膚関連疾患治療剤…………… (476)
14. 細菌感染症治療剤…………… (221)	41. 腎不全関連用剤…………… (488)
15. ウイルス感染症治療剤…………… (236)	42. 血液製剤・止血剤…………… (501)
16. 肝炎治療剤…………… (247)	43. 前立腺肥大症治療剤…………… (513)
17. 真菌感染症治療剤…………… (259)	44. 頻尿・尿失禁治療剤…………… (520)
18. うつ病治療剤…………… (268)	45. 子宮内膜症・子宮筋腫治療剤…………… (528)
19. 睡眠障害・不安症治療剤…………… (280)	46. 産科・婦人科関連疾患治療剤…………… (535)
20. 統合失調症治療剤…………… (291)	47. 麻酔剤…………… (544)
21. パーキンソン病治療剤…………… (301)	48. 筋弛緩剤…………… (552)
22. てんかん治療剤…………… (311)	49. 免疫抑制剤…………… (559)
23. 片頭痛治療剤…………… (321)	50. 眼科用剤…………… (569)
24. 認知症治療剤…………… (330)	51. 輸液・栄養剤・ビタミン剤…………… (582)
25. ADHD治療剤…………… (338)	52. 造影剤…………… (590)
26. 脳血管障害治療剤…………… (344)	53. 生活改善剤…………… (597)
27. 多発性硬化症治療剤…………… (351)	54. ワクチン製剤…………… (606)

「医薬品市場へのアクセス 2018」＜CD-R付＞

頒価:300,000 円(消費税別)

発行日:2018 年 4 月 20 日

発行人:金塚 進

発行所:テスト マーケティング株式会社

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 2-14

パールビル

TEL03-5642-3768

FAX03-5642-3778

日本語・外国語を問わず、いかなる形式でも本書の一部
または全部の複製無断転載をお断り致します。